



有漢の明日の農業を考えるつどい (1月24日 ボランティアセンターやすらぎ)

有漢地域の農業生産者団体等の代表者約20人と市長が、今後の有漢地域の農業振興について、活発な意見交換を行いました。参加者からは「後継者不足、農業収入の不安定さ、農地保全への支援、担い手育成など」について課題や要望が出されました。

カいっぱい「よいしょ、よいしょ！」 (1月30日 富家小学校)

教育委員会備中分室の主催で、毎年恒例の綱引き・縄跳び大会を開催しました。地域の仲間やスポーツ少年団などチーム構成はさまざま。綱引きは8人1組で3部門に計14チーム、縄跳びは10人一組で16チームが参加。会場は、綱を引く選手の掛け声と家族や仲間の声援で大変盛り上がりしました。



安全で安心して暮らせるために (2月2日 市内大型スーパー)

吉備国際大学ボランティア部有志は、高梁警察署と連携し「防犯パトロール隊ボランティア部隊」を結成しました。高齢者福祉施設や学校などで振り込め詐欺被害防止の寸劇をしたり、安全対策パトロールや落書き消しなどに取り組みます。隊員は男女24人。高梁警察署長から隊員証を渡された後、市内大型スーパーで振り込め詐欺被害防止を呼び掛けるチラシを配りました。



ゴール目指して なりわ健康マラソン (2月6日 成羽中学校スタート/ゴール)

市民の健康増進と親子や友だち同士などの交流をいっそう深めようと「第18回体力づくり なりわ健康マラソン」が開かれました。町並みコース(3km)と神楽コース(5km)に延べ300人が出場。ふれあいを大切に走る親子連れや記録更新を目指す人など、目的はさまざま。ゴール地点では地元婦人会によりあたたかい豚汁などが振る舞われました。



消防出初式で放水訓練 (1月16日 総合文化会館・ききょう河原)

新市発足後初めての高梁市消防出初式が開かれました。式典には約900人が出席し、地域防災への決意を新たにしました。その後、ききょう河原に消防ポンプ車など25台を集め、厳寒の中、合図とともに一斉に放水訓練を行いました。



有酸素運動で血液サラサラ (1月14日~21日 高梁東中学校)

市は高梁東中学校の3年生23人を対象に「青少年のための血液サラサラ教室」を3回に分けて実施しました。これは市の「すこやかプラン21事業」に基づく取り組みで、生活改善や健康づくりに役立ててもらおうと実施。有酸素運動に有効なエアロビクス体験授業のほか、生徒自身の血液検査結果を踏まえて学校医の講義や栄養士による食事指導も行われました。



親子で絵手紙づくり (1月21日 川上総合学習センター)

教育委員会川上分室の主催で「にこにこファミリースクール」を実施しました。今回は絵手紙づくりで、児童22人とその保護者15人が参加。この事業は、親子のふれあいや家庭教育に関する学習などを通して心豊かでたくましい青少年を育成することを目的にいろいろな内容を実施しています。今年度は今回で3回目。



なわとび...1秒でも長く! (1月23日 市民体育館)

高梁ライオンズクラブの主催で第17回小学生なわとび大会が開かれました。市内の小学校から団体・個人戦の部に合わせて200人が参加。子どもたちは、応援に駆け付けた保護者や学校関係者の声援を受け、1秒でも長い時間跳ぼうと必死でした。団体戦の長縄跳びでは、有漢ウインズが優勝しました。

